

新春のあいさつ



あけましておめでとうございます。市民の皆様におかれましては、健やかに新春をお迎えのことと思います。

本市では昨年9月に市議会議員選挙が行われ、14人の議員（うち新人議員が7人）が選出されました。皆様もご存じのとおり、本市には財政の問題、インフラ整備の問題、少子高齢化、そして産業経済、観光振興などたくさん問題があります。

しかし、阪南市が住みやすいと感じている市民の皆さんは多いと思います。海や山が近く、気候も穏やかで、関西国際空港が近くにあり、都心まで電車で30～40分の距離にもかかわらず、のどかな雰囲気、治安も良いまちです。

この魅力あふれる阪南市をもっと元気にするために、議員14人が一丸となり、知恵を出し合い、子どもから高齢者まで全ての人がつながり、助け合い、前向きに、精一杯努力してまいりたいと思います。

本年も、より多くの市民の皆様の声をお聞きし、阪南市政に、その声を反映させ、議会の権能を十分発揮してまいりますので、より一層のご支援・ご協力を賜りますようお願い申し上げます。

結びに、市民の皆様のご健勝とご多幸を心からお祈り申し上げまして、新年のご挨拶といたします。

あけましておめでとうございます。市民の皆様におかれましては、希望に満ちあふれた新年をお迎えのことと、心からお慶び申し上げます。

さて、人口の減少と少子高齢化、地方分権が進んでいく中、地方自治体はこれまで以上に自立した行政運営が求められています。

本市においても、それらのことに加え、公共施設・インフラの老朽化の進行、また主要な市税収入、地方交付税などの大幅な増額が見込めない状況であるといった財政基盤の脆弱性（ぜいじやく）をかんがみ、昨年10月に「財政健全化計画」を策定し、持続可能な行財政運営に取り組んでいるところです。

そのような中、持続可能な財政基盤の強化を図りつつ、安全で安心なまち、活力とやさしさ溢れるまちの構築に向け、本市が抱える多くの課題を打開することが求められます。そのため、全職員が一丸となり厳しい現状の認識を共有し、昨年掲げた水野メソッドの施策を着実に実行してまいりますので、市民の皆様のご支援とご協力をよろしくお願い申し上げます。

結びに、市民の皆様にとって今年一年が幸多き、素晴らしい年となりますよう心からお祈り申し上げます、新年のご挨拶といたします。



市議会副議長 二神 勝



市議会議長 上甲 誠



市長 水野 謙二